

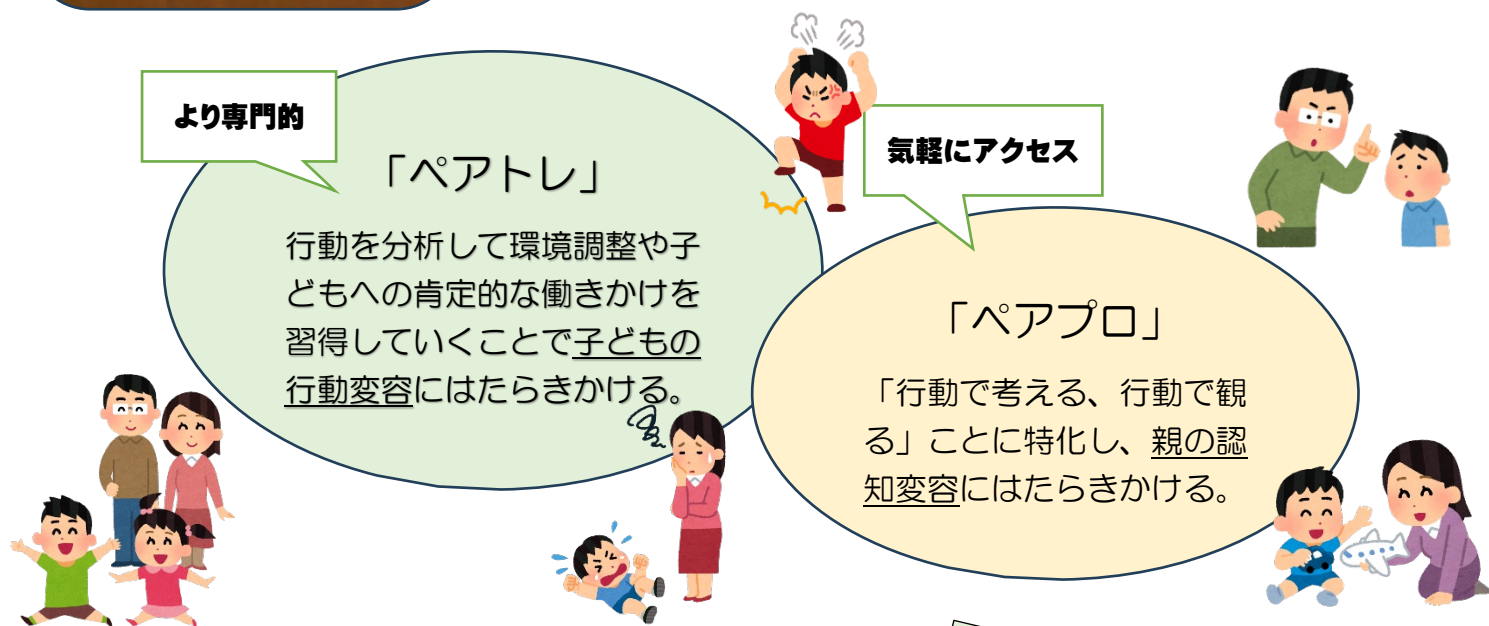
子育て支援に生かそう ペアトレ・ペアプロの考え方

～子育てサポートプログラム
『みんな🌻はなまる』から学ぶ～

講師 馬淵 翠さん 京都市子ども家庭支援課



第8回共同機構研修会は、子ども家庭支援課心理支援担当の馬淵翠さんに、ペアレントトレーニング（ペアトレ）やペアレントプログラム（ペアプロ）についてのお話をうかがいました。また、京都市で作成し、現在子育て支援の場で実施されている子育てサポートプログラム「みんな🌻はなまる」を体験したり、同じ区の子育て支援者同士でグループ交流をしたりしました。



「ペアプロ」の3つの要素

1. 「仲間」をつくる

《仲間関係を築きにくい保護者などを支援者がサポート》

2. 「行動」で考える

《「行動」で見るペアトレの前段階の基本プログラム》

3. 「ほめる」対応

《子どもに向けがちな否定的な視点（「困った子」）を、肯定的な視点（「ここまではできている」）に変える》



様々な悩みを持つ保護者に有効

地域でできる、地域でこそ生きる！

レッツ！チャレンジ！

子育て応援ワークブック『みんな はなまる』

『みんな はなまる』は、京都市で平成28年に作成された、

- ①「ほめる」ことで、親子のコミュニケーションを促し、
 - ②子どもについて「行動で考え」、
 - ③保護者が「自分だけではない」と感じて仲間を見つける
- といった「ペアプロ」の要素と、伝え方や環境の工夫などを取り入れた子育て応援ワークブックです。



ワークは全部で
6章

1章 いいところをさがそう

2章じっくり見てみよう！

3章 なんか考えよう！

4章 やる気を引きだそう！

5章 うまく伝えよう！

6章 過ごしやすいように整えよう！



自分の短所をポジティブに言い換えてもらって嬉しかったです。



同じ地域の支援者という
話を聞いて良かったです。

今回は、第1章「いいところを探そう」と第3章「なんか考えよう！」を体験しました。

このワークブックを活用することで、

- ・子どもの行動に対する捉え方を変える。
- ・子どもへの具体的な対応の仕方や望ましい関わり方を学ぶ。等の効果が期待できます。



リフレーミング

具体的に見る

行動分析

伝え方の工夫

認める・ほめる

環境を整える

アンケートより

- ・もう少し深く、子育てサポートプログラムについて学びたいと思いました。もっと時間がほしいと感じました。
- ・栄養士という立場での、保護者支援の研修はとても新鮮でした。食についての研修に参加することが多いのですが、保護者との関わりはあるので、子育てについて学びを深めたいと思いました。
- ・「ほめる」と、ほめる側にもメリットがあると知り、保護者にも伝えていきたいと思いました。心に余裕をもって、子どもや保護者の良いところをたくさん引き出していきたいです。また、短所と知っていることも、考え方で長所にかわるんだなとわかりました。
- ・保護者支援の具体的なプログラムだと思うので、現場で有効に使うことができると良いな、と感じました。グループ討議の時間や、ワークの時間があり、周りの方から意見を聞くことができたので、とても充実していました。
- ・グループ交流で、同じ区でグループにしてくださったので、情報交換できて良かったです。地域でつなげていこうという意図のグループ作りが嬉しかったです。

DVD貸出中